

平成24年(辰年) さらなる飛躍を目指します

1. 心の成熟した文化国家を目指すバカンス法の実現に向けて 2歩も3歩も前進する

バカンス法シンポジウムの開催
平成24年2月5日(日)
13:30~17:10

※詳しくは、裏面をご覧ください。

2. 地域再生の強化に向けて、農泊者数年間1万人の実現を

①アジアからの農泊



H24.1.10~
台湾高級中学校

韓国や中国からたくさんの方に、農泊の視察や教育旅行の一環として、来ていただいています。



②教育旅行(都市部や地元学生)の受入



農作業体験!!

津房川でリバーサイドウォーク!!



昨年度も、たくさんの方に、安心院町にお越しいただきました。
町内のみなさまのご協力、ありがとうございました。

3. 研修会に参加して全員のレベルアップを目指す

当研究会では、受入側のレベルアップのため、グリーンツーリズム実践大学(勉強会や料理講習)を開催したり、毎年、グリーンツーリズムの本場ドイツへ研修旅行に行っています。また、年一回スローフードフェアを開催し、「自然は豊かな心を育み、田舎食は元気」の源」を合言葉に、地産地消を目指し、地元のお母さん達が作る手料理を振る舞うイベントも実施しています。

4. 年間行事のご案内

- ・バカンス法シンポジウム 2/5(日)
- ・第13回グリーンツーリズム ヨーロッパ研修旅行(ドイツ・フランス8日間) 2/22(水)~29(水)
- ・スローフードフェア 3/10(土)
- ・大分安心院グリーンツーリズム実践大学(勉強会・料理講習) 4月・7月・9月・11月・2月の計5回開催
- ・マイ米物語第10巻 6月~12月まで計4回開催
- ・第16回リバーサイドウォーク 毎年夏に開催
- ・第17回祇園坊講演会 毎年秋に開催

※ 予定は変更になる場合があります。
詳しくは、事務局(44-1158)まで、またはホームページ(<http://www.ajimu-gt.jp>)をご覧ください。

心のせんたく

NPO法人 安心院町グリーンツーリズム研究会 会報

第39号

1月26日 木曜日

発行者: NPO法人 安心院町
グリーンツーリズム研究会広報部
住所: 安心院町下毛1046番地
TEL: 0978-44-1158

もくじ

- ◆ 1 ページ目
・イベントのご案内
・活動報告
- ◆ 2・3 ページ目
・バカンス法シンポジウム
のご案内
- ◆ 4 ページ目
・スローフードのご案内



~農食 農泊~ 第3回大分・安心院 スローフードフェア

農泊(農村民泊)
発祥の地「安心院」

究極の地産地消祭り安心院の食の総出演



東京・浅草で210年の歴史を誇る
老舗「駒形どぜう」の柳川どんぶり出品!

平成24年3月10日(土)

会場 第1部/安心院亀の井ホテル2階「竜王の間」
第2部/B&G海洋センター体育館

※人数制限がございます。詳しくはお問合せ下さい。

※当日のみ農村民泊と第2部参加券とのセットで特別価格6,800円でご利用できます。

イベント当日スケジュール

- 15:00~ 第1部 グリーンツーリズム俳句授賞式
- 15:30~ 第2部 スローフードフェア受付
- 16:00~ " 宇佐地域料理や伝統料理の展示・試食会

スローフードフェア
第2部 展示・試食会
参加料
2,500円

スローフードとは?

世界中どこでも同じ食材の食べ物が素早く提供される企業のファーストフードに対して生まれた言葉で、地産地消・郷土料理の伝承のもと、小さな農家を守り育てるイタリア発の農業農村再生の世界的な運動です。安心院のグリーンツーリズムも農村民泊やスローフードを通じ、国の基本を農業農村に戻し食料自給率100%を目標にしています。スローフードフェアは「自然は豊かな心を育み、田舎食は元気の源」を合い言葉に、今私たちが一番失ってはいけないものを再確認する為にも、スローフードという名の『食』で伝える催しです。農泊とワインの里「安心院」に来て、手間ひまかけたおかあちゃんの手料理で「心のせんたく」をしてみませんか?

★前売りで、農泊セットプラン(一泊二食付きスローフード参加費込み 大人一名¥6,800/子供一名¥4,300)もご用意しております。みなさまのご参加お待ちしております!!

※当日申し込みの場合大人のみプラス200円です。

【申し込み方法】 事前に事務局へ電話予約(44-1158)、または事務局でも販売しております。

バカンス法 シンポジウムのご案内

バカンス法 シンポジウム

～ILO132号条約批准を目指して～
グリーンツーリズム・観光、
そして、日本人の心の画期的展開

平成24年2月5日(日) 13:30～17:10

会場:大分県宇佐市安心院町『亀の井ホテル』竜王の間

(〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛 TEL0978-44-1850)

参加費:講演は無料ですが、資料代として、お一人様 1,000円をいただきます。

定員:申込み先着順 150名様

主催:NPO法人 安心院町グリーンツーリズム研究会 共催:NPO法人 大分県グリーンツーリズム研究会

◇開 会 14:00～14:20

◇基調講演 14:20～15:00

共同通信社 編集局調査研究センター事務局長 伊藤 祐三 氏

(略歴)

中央大学卒。毎日新聞社に入社後、1993年から共同通信社。経済部記者として大蔵省や日銀などを取材。2009年度から、全国の地方新聞社との合同企画「地域再生」を担当。長野県出身。51歳。

『日本にバカンスが広がるにはどうしたら良いか』

◇パネルディスカッション 15:10～17:10

【コーディネーター】

青木 辰司氏 東洋大学社会学部 教授

◎パネリスト

- ① 桑野 和泉氏 湯布院温泉『玉の湯』代表取締役社長
- ② 小松 史郎氏 東京都市大学教授、元三菱総合研究所集客文化環境部部長
- ③ 田中 一彦氏 元西日本新聞・パリ支局長
- ④ 望月 陽子氏 NPO法人 大分県グリーンツーリズム研究会事務局長



バカンス法シンポジウムに向けて

～ILO132号条約批准を目指して～

(グリーンツーリズム・観光、そして、日本人の心の画期的展開)

【平成24年2月5日(日)】

趣意書

平成23年3月11日の東日本大震災、及び原発問題は、経済的にはもちろん、日本人の生き方に大きな警鐘を鳴らした。西日本に住む者たちは、当面、被害にあった東日本の分まで、頑張らなくてはならないのではなかろうか。

安心院町では、グリーンツーリズム発足、16年となるが、農業・農村で暮らし、グリーンツーリズムを志す者たちにとって、なぜここまでヨーロッパと差があるのだろかと考えさせられる。

ヨーロッパでは、国の基本を農業に据え、食料自給率は、ドイツ100%、フランス140%と言われている。また1970年にILO132号条約批准の下、オーストリア・フランス(独自のバカンス法制定)等では、雇用が1割あると言われている。

もし、日本でいま、バカンス法を批准したら、130万人の雇用、11兆円の産業になると国土交通省は、はじいている。ヨーロッパで出来て、なぜ日本で出来ないのか。

今こそ、発想を変え、そして、団結し、“人生はお金”ではなく、“人生はバカンス”にしようではないか。日本では、20代の3割以上の人が、何らかの精神的な病気を持っているという。年間3万人以上の自殺者が出るが、すべてゆったりの時間が取れないから、追い込まれてしまうのではないか。

強制力を持って個人が自由に2～3週間連続で、休むことができる世の中こそが、この国の、グリーンツーリズム・観光などを含む、総合的な経済の回復、そして、疲弊した日本人の心を救えるのではないだろうか。

その答えは、70年近く歴史のあるヨーロッパのバカンス法の歴史を見れば明らかである。いくらお金や物があっても、幸せで無い人は多いものである。もうこの国もいい加減、『心の成熟した文化国家』を目指すべきではなかろうか。

今日では、東日本大震災に始まり、TPPや消費税問題、ヨーロッパ経済危機そして超円高と続く不安。この閉塞感漂う世のを救う為にも発想を変え、せめてILO132号条約の批准を国に強く望む。

※平成23年10月現在ILO132号条約批准国はヨーロッパ27カ国、アフリカ大陸7カ国、ラテンアメリカ2カ国の計36カ国となっている。

＊ILO132号条約とは？

国際労働機関(ILO)により、有給休暇の日数は、6ヵ月以上の勤務実績があれば最低3週間(5条、3条)、そのうち2週間は連続して付与しなければならない。
最低でも一年に一度、2週間続けて休むことが、健康な毎日を送るために必要であるというもの。

NEWS!!

・昨年の11月に、地方文化部門として、当研究会が「平成23年度 大分合同新聞文化賞」をいただきました。



募集中!!



農泊をはじめてみませんか？

・安心院町グリーンツーリズム研究会(以下安心院GT)では、農泊をはじめたい方を募集しています!!
現在、安心院町・院内町・宇佐の3地域合わせて、64軒の農泊家庭があります。

農泊は「心と心の交流」多くのすてきな出会いがあります。

農泊についてのご相談やご質問などお気軽に事務局までお問い合わせください★

事務局が簡易宿所許可取得手続きや受入のサポートをいたします!!

【お問い合わせ先】(0978)44-1158